

争が猛烈に捲き起された。

(二) 部落施設要求獲得の闘争

第六十三臨時議會を通過した百五十萬圓の「地方改善應急施設費」に削減されて、部落施設の要求が昂まり、各地において要求獲得の闘争が激化された。殊に九州聯合會の指導の下に福岡縣の全縣に亘つてこの闘争が組織された。

結 論

以上の簡単な報告から抽出される結論はかうだ。

先づ第一に全國水社の全線的萎縮である。全國水平社は現在全國的な組織の統制を殆んど保つてゐない。それどころか中央部さへ完全に確立されてゐない状態である。この悲感すべき事實を、事實として卒直に認めねばならぬ。

第二に、この全國水平社の萎縮せる状態に反して、勤勞部落民大衆の闘争は極めて多様な形をとつて、著明らしい勢ひで

盛り上つて來てゐることである。そしてその多様な形態の闘争は労働者、農民、勤勞大衆の闘争と結合して異常な昂まりを見せせてゐる階級闘争の波に合流しつゝあることである。